

平成 29 年度くるめ園事業報告

1 総括

平成 29 年度は労働環境の整備と利用者サービスの充実について意識して取り組んできました。労働環境の整備については、長年の 10 時間拘束（7 時間半労働）から 9 時間拘束（8 時間労働）の 4 週 8 休制を実現し、直接介護業務を手厚くすることにも繋げることができました。日中活動については利用者からの要望で、新たに 3 つのクラブ活動を開始し、昨年の 1.4 倍以上の方がクラブ活動に参加しました。また、新たに取り入れた音楽療法には、毎回 20 名以上の利用者が参加するなど一定の成果を得る事ができました。地域移行については、今年度も 1 名のご利用者がグループホームへ移り新たな生活を始めることができました。

一方で課題としては、入院者の増加により利用率が 92% 台となるなど、今後は健康面でのケアも充実していく必要があります、年度途中より欠員が生じた機能訓練士の確保に努めていきます。職場環境の整備については畳式のベッドを順次ギャッジベッドに入れ替え介護職員の負担を軽減していきます。

2 利用実績

	利用者数	利用率	入院日数	入所者数	退所者数
4 月	1500	92.7%	109	1	1
5 月	1550	91.8%	127		
6 月	1500	87.4%	189	2	1
7 月	1550	90.3%	149	1	1
8 月	1550	91.4%	132		
9 月	1500	88.1%	178		
10 月	1550	87.8%	188		1
11 月	1500	92.2%	117	2	1
12 月	1550	94.7%	81		1
1 月	1550	96.7%	50	1	
2 月	1400	96.2%	52		1
3 月	1550	98.9%	18	2	2
計	18250	92.3%	1390	9	9

(退所内訳：措置切れ 5 名、死亡 3 名、地域移行 1 名)

3 重点目標(課題)の成果と課題

重点目標	成果と課題
<p>利用者が居心地のよさを感じて過ごせるサービスの提供</p>	<p>29年度より3つのクラブ活動を加えたことや新たに音楽療法を取り入れたことで、昨年度に比べ2倍以上のご利用者が日中活動に参加されています。また、半日の外出支援に加えて1日外出支援を試行で取り入れたことでご利用者の行動の幅も広がってきています。</p> <p>環境整備においてはカーテンの入れ替えと壁紙の張り替えを実施しました。更に破損が目立っていたキックガードについてはステンレスの幅木に替えたことで清潔感や安全性が向上しました。</p> <p>今後の課題として、身体に障害を持たないご利用者が増えてきているため作業訓練等の導入も検討が必要になってきています。</p>
<p>福祉サービス提供者としての役割を意識し、専門性と社会性の向上</p>	<p>定期的にケースカンファレンスを実施しており、その中では異なる専門性を持つ他職種がチームとなって、利用者支援を検討してきました。それぞれの専門性を活かした効果的・総合的なサービスを提供し、利用者支援の幅が広がってきています。また法人主催のスキルアップ研修に参加し、29年度は2名の職員が社会福祉士の資格を取得することができました。今後の課題としては、ご利用者の重度・高齢化が進む中で喀痰吸引の研修参加については早急に対応していきたいと考えています。</p>
<p>職員の連携と主体性に基づくサービス提供組織の推進</p>	<p>支援ツールを導入して、情報の共有をスピーディーに行っています。またコミュニケーション研修を開催して、自分を知り相手を理解することで円滑なコミュニケーションが生まれることを改めて学び、職種を超えた連携強化を図りサービスの向上に努めました。</p> <p>今後の課題としては、担当職員の不在時におけるご利用者サービスの低下についてはグループ制導入の利点を活かして組織としてのサービス強化を図っていきます。</p>
<p>地域の福祉ニーズに対応するサービス提供</p>	<p>様々な事情で生活に困窮している方に対して一般就労に向けた就労訓練の場を提供しております。また、一時的に地域での生活が困難になった方や退院のための生活訓練を目的とした一時入所事業を今年度より開始しました。</p> <p>今後は小平市が作成している地域福祉活動計画に連動したサービス提供も積極的に実施していきます。</p>
<p>施設財政の健全化</p>	<p>主任会議ではサービス推進費や加算などについての議論ができました。また、サービス推進費の要領の変更に伴い、高齢要介護者加算をとることで重度者減員による収入減を緩和することができました。</p> <p>今後の課題としては昨年度から倍増している入院者を減らして利用率の安定を図る対策が必要と考えます。また、最重度者の減少や空床に伴う収入減や、現行の給与制度による昇給率については財源を圧迫しており検討が必要になってきています。</p>

4 苦 情

苦情申立月	苦情の内容	対応と結果
7月	利用者間の挨拶について障がいの特性もあり利用者が挨拶し返事をするまで睨まれているようで怖い。	利用者間で話をし、睨んではないことを確認した。また障がいの特性であることも理解して頂き、現在では気にならなくなったとのこと。

5 事 故

種別	件数	内容と対応
関係機関報告 事故	3件	<p>5月30日 夜間自分で車椅子からベッドに移乗する際に転倒。翌朝救急車にて病院に搬送。大腿骨転子部骨折により入院となる。</p> <p>7月15日 自室にて転倒。即日救急車にて病院に搬送。骨盤骨骨折により入院となる。</p> <p>9月19日 早朝ベッドから車椅子に移乗させ、姿勢を都となる際に車椅子から転落。即日通院し、左大腿骨頸部骨折により入院となる。</p>
施設対応事故	58件	<p>① 転倒関連 転倒17件、転落12件、滑落0件 (うち介護中の事故8件) 怪我関係 内出血1件、痣2件、切傷7件、擦傷1件、表皮剥離1件、捻挫0件、熱傷0件、(うち介護中の事故7件)</p> <p>② 服薬関連 誤薬5件、服用忘れ2件、飲みこぼれ6件</p> <p>③ 食事関連 異食0件、誤配膳0件</p> <p>④ その他 ・骨折0件(他利用者から殴打。移乗介護中。不明) ・誤嚥0件 ・尿道カテーテル抜去0件 ・尿道カテーテル切断0件 ・誤飲1件 ・無断外出0件</p>
ヒヤリハット 報告	176 件	<p>事故報告の①～⑤の区分けで件数を記載する。 ① 91件(転落74件、転落13件、滑落8件) ② 17件 ③ 12件 ④ 11件 ⑤ 45件</p>

6 入所者・通所者の状況(平成30年3月31日現在)

	男性	女性	計
男女内訳	25名	24名	49名
平均年齢	58歳	64歳	61歳
平均在所期間	11年4か月	17年7か月	14年1か月

7 職種別職員数(平成30年3月31日現在)

	常勤	非常勤	常勤換算	再雇用	常勤換算	嘱託	常勤換算	派遣	常勤換算	職員数計	常勤換算
施設長	1		1							1	1
副施設長	1		1							1	1
生活指導員	3		3							3	3
介護職員	23	6	28.4					1	1	30	29.4
医務職員	2	2	2.64							4	2.64
事務職員	1	1	2							2	2
理学療法士											
作業療法士											
言語聴覚士											
栄養士	1		1							1	1
調理員	4	3	5.5							7	5.5
運転手											
洗濯員											
医師						3	0.3			3	0.3
その他		1	0.8					1	0.6	2	1.4
合計	36	13	45.34			3	0.3	2	1.6	54	48.94

8 ボランティア・実習生の受け入れ人数

ボランティアの内容と人数

活動名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
趣味活動	生花の会	6	5	5	6	6	4	5	4	4	0	5	4	54
	料理クラブ	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	25
	俳句の会	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
	園芸の会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	習字の会	2	2	0	2	0	2	2	2	0	2	2	2	18
	歌の会	2	2	0	2	2	0	0	2	2	2	0	2	16
	パソコンクラブ	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	4
生活支援	散歩	25	18	14	11	12	13	13	15	10	10	11	31	183
	外出支援	11	7	5	5	8	8	14	15	5	33	3	17	131
その他	正月3が日										17			17
	1泊2日旅行		12											12
	新年会										4			4
合計		49	49	28	30	32	30	37	41	25	71	25	61	478

9 実習生の免許資格・実習期間

学校名	免許資格	実習期間	日数	人数
東京福祉大学	社会福祉士	6月5日～2月15日	39日間	1名
東京学芸大学	社会福祉士	8月9日～8月18日	8日間	1名
日本福祉教育専門学校	社会福祉士	8月2日～9月4日	24日間	2名
		2月19日～3月10日	16日間	
武蔵野大学	社会福祉士	8月20日～9月20日	22日間	1名
日本社会事業大学	社会福祉士	9月25日～10月6日	8日間	1名
淑徳短期大学	介護福祉士	2月2日～3月5日	18日間	1名

10 福祉サービス第三者評価の報告

平成29年の「改善が望まれる点」の改善状況	
	内 容（上欄は改善要望・下欄は改善の取り組み）
改善項目	組織改革の途上で挙げた課題について組織全体で検討を進め、より良い方向に組織を導いていくことが期待される。
改善状況	2018年4月11日委員会にて改善に向けて検討 事前に会議に挙げる資料を1週間前に掲示し、職員の意見を集約していく。また、利用者支援に関する支援関係連絡票の書式を変更し、検討が必要な支援については職員会議で検討していく。
改善項目	これまで支援を支えてきたくめ園の組織のあり方について評価・分析を行い、改善につなげていくことが期待される。
改善状況	2018年4月11日委員会にて改善に向けて検討 組織改革後の分析評価がされていないので、改革されたところを洗い出しし、分析を行っていく。
改善項目	自立生活の大きな部分を占める金銭管理を利用者支援と切り離すことなく「施設生活安心事業」が行われることが望ましい。
改善状況	2018年4月11日委員会にて改善に向けて検討 金銭管理について利用者からの不満や担当職員が困っていることの内容を把握していく。